

白峰村明谷地域における居住分布について

岩 田 憲 二 石川県白山自然保護センター
杉 田 敏 男 郷土史家

THE DISTRIBUTION OF DEZUKURI IN MYOUDANI DISTRICT

Kenji IWATA, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*
Toshio SUGITA, *Local Historian, Shiramine-mura*

はじめに

筆者の1人(岩田)はこれまで、白峰村大道谷地区(岩田, 1987)、同村桑島地区(岩田, 1988)、同村南部地区(岩田, 1989)の居住分布について報告してきた。その結果、地域によって季節出作りが卓越する場合(桑島地区)と、永久出作りが主流を占める場合(大道分地区と南部地区)があることが分かった。ここでは、白峰村に残っている未調査地域の一つ、明谷地域の居住分布について報告する。

明谷地域の出作りについては、すでに橘(1984)が詳細な成果を挙げており、今回はその補完的な調査に過ぎない。なお調査に際しては、山口静子・加藤文吉の各氏に、出作りに関する貴重な御教示を得た。この場を借りて御礼申し上げる次第である。

明谷地域の出作り分布

明谷で確認できた出作りは全部で27戸あった。これは明治以後の居住者のうち確認しうるすべての戸数であった。昭和9年の大水害の頃には12戸、昭和30年頃には9戸、三八豪雪(昭和38年)の頃には5戸に減少し、昨年まで来ていたイチベ(15)を最後に、住居を構えての居住者はいなくなった。

居住形態は圧倒的に永住型が多く、確認された27戸中20戸が永住形態、2戸が季節出作りであった。その他に、トラノスケ(3)・イワサプロ(10)・ヒコヨモ(11)・イチベ(15)・ヘイシロウコサ(19)の5戸は、当初永住であったが後に季節出作りになった。このことから見ても、明谷がほかの白峰南部地域(大道谷・河内谷各地域)と同じく一年を通して山地に居住する永久出作り主体であったことがわかる。明谷に関して言えば、2戸の季節出作りはともに請作であり、他所から夏期のみ明谷に来て出作りをする場合は、土地を借りざるをえなかったと考えられる。また、永住者請作の場合、土地所有者はすぐ近くで永久出作りをしている(15—16, 17—18)ケースが見られ、自分も永久出作りをしながら、その山林原野の一部を貸していたことがわかる。

転出先については、河内谷や大道谷と比べて特に注目すべき点はない。地域でいえば白峰村内、鶴来・金沢方面、県外に分けられる。白峰村内の他の出作り地域と同じく、福井県(勝山)への転出者が見られたのは、地理的・歴史的な理由によると考えられる。

おわりに

明谷は、牛首川（手取川の上流部）の支流である。この谷は、古くから白峰本村の水源となっていて、現在も本村への除雪・防災・生活用の水源として機能している。明谷から村内まで飲料水を供給するための用水を開削した記念碑として、元和三年（1617）建立の年号岩が、牛首川との合流点近くに残っている（写真）。これからもわかるように、人口密集地の白峰本村にとって、明谷は非常に重要な役割を果たしてきた。そして、水源地であるが故の制約や苦労もあった。例えば明谷地内で死者が出た場合、明谷内で埋葬することはできず、冬期は運搬などで苦労したそうである。

平成2年まで出作りに来ていたイチベ（15）が来なくなってからは、長い居住の伝統を持つ明谷には実質的な意味での住人はいなくなった。いつの日か、形は違ってても何らかの形態で『山』に人が戻ってくることを願う次第である。

文 献

- 岩田憲二（1987）白峰村大道谷地区における出作りについて、白山自然保護センター研究報告，第14集，P. 107—117
———（1988）白峰村における出作り分布の変遷について，白山自然保護センター研究報告，第15集，P. 107—116
———（1989）白峰村南部地域の居住分布—特に出作りについて，白山自然保護センター研究報告，第16集，P. 95—101
橋 礼吉（1984）いわゆる「焼畑・出作り」への視点、『はくさん』，第12巻第2号，p. 8—11

Summary

In this study, authors researched the distribution of dezukuri in Myoudani. Most of dezukuri-types are classified into the eikyuu-dezukuri (parmanent dwelling) in Myoudani. In conclusion, the eikyuu-dezukuri locates in the southern part of Shiramine-mura (Ohmichidani, Kouchidani and Myoudani area), and the kisetu-dezukuri (seasonal dwelling) locates in Kuwajima and Shimotawara area, the northern part of Shiramine-mura, mainly.



明谷用水の年号岩

岩田・杉田：白峰村明谷における居住分布について

表1 明谷の居住者

	屋号	居住形態	土地所有	転出先	標高	S 30年頃	備考
1	シチゾウ	永住	自作	絶えた			昭和12年頃転出
2	シチロウ	永住	自作	絶えた			大正初め頃転出
3	トラノスケ	永→季節	自作	白峰			現在も山の手入れに来ている。
4	オトスケ	永住	請作	福井県			昭和3年頃転出
5	シロウゴロウ	永住	請作	白峰			昭和17年頃転出
6	ロクスケ	永住	請作	? (福井県)			大正12年頃転出
7	シチロモ	永住	自作	勝山		○	昭和37年頃転出
8	モトヨモ	永住	自作	勝山			明治30年頃転出
9	ソウザエモ	永住	自作	白峰	660 m	○	三八豪雪の頃も居住(夏期のみ)
10	イワサプロ	永→季節	請作	白峰→鶴来		○	昭和35年頃転出
11	ヒコヨモ	永→季節	自作	鶴来		○	昭和37年頃転出
12	チョウベサ	永住	自作	大阪		○	三八豪雪の頃もいた
13	ゴロヨモゴンキチ	永住	自作	金沢			大正9年頃転出
14	ゴロウ	永住	請作	?			大正2年頃転出
15	イチベ	永→季節	自作	白峰	845 m	○	平成2年まで出作りをしていた
16	モトキチ	永住	請作	?			大正2年頃転出
17	ゴロヨモ	永住	自作	金沢			大正8年頃転出
18	ジュウシロ	永住	請作	?			明治22年頃転出
19	ヘイシロウコサ	永→季節	自作	白峰		○	三八豪雪の頃もいた
20	クマ	永住	自作	絶えた			昭和5年頃転出
21	ブンザ	永住	自作	鶴来			昭和22年頃転出
22	トウハチ	季節出作	請作	白峰			明治40年頃転出
23	シチスケ	季節出作	請作	風嵐	690 m		昭和2年頃転出
24	イチゴロウ	永住	自作	?			昭和12年頃転出
25	イチロヘイ	永住	自作	白峰	765 m	○	三八豪雪の頃もいた
26	ジュウザイモ	永住	自作	白峰	840 m	○	三八豪雪の頃もいた
27	シチヨモ	永住	?	?			大正10年頃転出

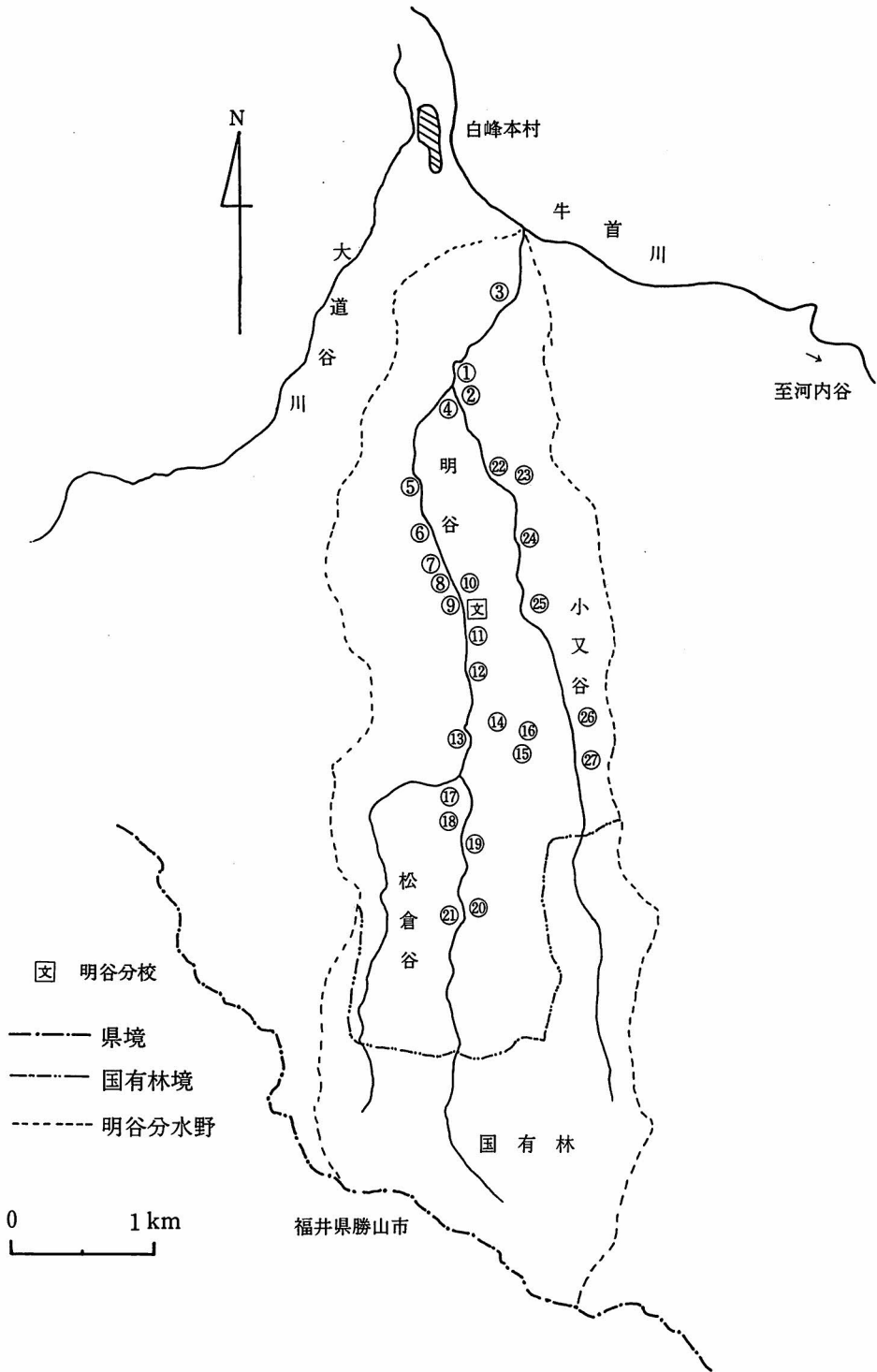


図1 明治の居住分布図